

簡易版



平成 28 年度 第 34 回「NHK 海外たすけあい」事業報告書

790,000人 シリア
食糧配布

180,000人 イラク
衛生用品配布

7年目に突入したシリア紛争。武力紛争が続くシリア、イラクを中心に中東地域の情勢は混迷を極めています。赤十字は、ボランティアの協力のもと、食糧・物資の配布、保健・医療サービスの提供など懸命な救援活動を展開しています。

©Tommy Trenchard / Panos Pictures

紛争で苦しむ人への支援



コンゴ民主共和国では、武力紛争により死傷者や避難民が発生しています。赤十字は保健医療支援や性暴力の被害者へのこころのケア、食糧・水の提供を行っています。



アフガニスタンでは、内紛が長期にわたり、一般市民の生活にも甚大な影響を及ぼしています。赤十字は食糧の配布や生計の再建、離散家族の再会支援を行っています。



ウクライナでは、東部で武力紛争が勃発しました。赤十字は衛生用品の配布や現金給付、また政府軍および反政府勢力双方と行方不明者についての調整も行っています。

世界からのありがとう

【シリア】 ファティマちゃん(左)とマフムドくん(右)

「両親と一緒にシリアからレバノンの難民キャンプに逃げてきました。赤十字がトイレを建ててくれたので安心です。テントの周りもドロドロにならなくなったので、外で遊べるようになり嬉しいです。」



44,000人

ネパール
コミュニティ防災事業
受益者

日本赤十字社は、ネパール赤十字社と共に住民が主体となって取り組む防災事業を2012年から実施しています。

地震や洪水、土砂崩れなどの自然災害や、衛生環境から引き起こされる健康課題などに対して、地域に暮らす人々が事前に備え、緊急時には自分たちで対応し、立ち上がっていきける力をつけることを目標としています。

©Carlo Heathcote/IFRC

災害で苦しむ人への支援



©BDROCS

バングラデシュで発生した洪水に対し、赤十字は生活資材配布、浄水装置設置などを行い、減災のための植林事業等さまざまな支援を行いました。



©Arie Kievit / Netherlands Red Cross

ソマリアでは国民の半数が影響を受ける干ばつが発生し、赤十字は人や家畜の保護と病気の蔓延防止のため、水の供給、医療サービスの提供を行いました。



©Fernando Gandarillas / IFRC

ペルーで発生した豪雨による地すべりで、多くの建物が倒壊しました。赤十字は生活物資提供などの緊急支援に加え、被災者への心のケア等のサポートも継続して行いました。

世界からのありがとう

【ベトナム】 赤十字ボランティア クエさん

海に面するこの地域に住むうえで大切なのは、台風への備えです。人々はマングローブが防波堤になってくれていることを知っており、赤十字の支援で広大な地域にマングローブが植林され、非常に助かっています。気持ちを表現できないくらい感謝しています。



7,000人

南アフリカ共和国
HIV/AIDS
カウンセリング・検査

サハラ砂漠以南アフリカにおけるHIV/AIDS患者は世界の患者数の6割以上を占めると言われています。日本赤十字社は、2010年より国際赤十字・赤新月社連盟を通じて、南部アフリカ地域で、HIV/AIDSや結核等の感染症対策事業を実施しています。クリニックの運営、HIV感染者や孤児世帯への医療や食糧の支援などを行っています。

©JRCS

病気で苦しむ人への支援



©IFRC

黄熱病が流行したアンゴラでは、赤十字が予防接種キャンペーンを展開し人口の7割に当たる1,800万人に接種を行い、2016年末に終息させることに成功しました。



©JRCS

ミャンマーでは公的な医療保険や救急医療制度が整っていません。赤十字は各地で域住民に対し、応急手当の知識・技術の普及を図り、2016年は2万人以上が受講しました。



©IFRC

保健サービスの充実していないアフガニスタンでは、地域の学校で青少年クラブを立ち上げ、ヘルスポランティアを養成しています。今後彼らが献血や性感染症等の啓発の中心を担うことが期待されます。

世界からのありがとう

【ルワンダ】シルビアさん(左)

赤十字が上映した防災に関する短編映画を観て、家の周囲に土嚢を置いたり木を植えたりすることで、土砂崩れを防ぐことを学びました。また、トイレが壊れて汚物が流れると感染症の原因になることも知り、トイレの修復も行いました。



平成28年度の実績

平成28年度の募集実績

■ 寄付件数 **76,343件** ※個人・法人を含む

■ 実績額 **6億3,582万9,119円**

平成28年度の支援地域

災害時の緊急救援や紛争地での救援活動から復興支援、開発協力まで世界55カ国、5地域で支援活動を実施しました。



南スーダン	カメルーン
ナイジェリア	チャド
ソマリア	ニジェール
コンゴ民主共和国	ウガンダ
中央アフリカ	スーダン
マリ	ケニア
ブルンジ	マダガスカル
モザンビーク	アンゴラ
ルワンダ	ナミビア
マラウイ	スワジランド
南アフリカ	ザンビア

ウクライナ
ギリシャ
アルメニア
アゼルバイジャン

イエメン
ヨルダン
イラク
リビア
シリア

アフガニスタン	ベトナム
ミャンマー	モンゴル
カンボジア	北朝鮮
東ティモール	ネパール
スリランカ	インド
バングラデシュ	インドネシア

フィジー
キリバス
PNG
サモア
トンガ
ツバル
ソロモン諸島
パヌアツ
クック諸島

ドミニカ
チリ
ペルー

使途報告

(前年度繰越金)	110,693,356
平成28年度（第34回たすけあい募金額）※1	635,829,119
平成28年度収入合計	746,522,475
紛争で苦しむ人への支援	217,562,565
・中東（シリア、イラク等）の紛争犠牲者への支援	102,988,918
・アフリカ地域の紛争犠牲者への支援	80,127,499
・アジア地域の紛争犠牲者への支援	25,994,085
・東欧地域の紛争犠牲者への支援	8,452,063
災害で苦しむ人への支援	251,132,609
・洪水やサイクロンによる被災者の支援	66,468,706
・干ばつや食糧危機による被災者の支援	23,767,229
・その他の災害による被災者の支援	4,426,840
・アジア・大洋州における災害対策・防災事業	71,352,841
・緊急時に即時に対応するための救援物資備蓄整備等	85,116,993
病気で苦しむ人への支援	139,590,598
・感染症で苦しむ人の支援	39,356,333
・保健医療支援事業	63,587,487
・救急法普及支援事業	13,925,151
・支援主体となる地域・現地赤十字社の組織強化事業	18,790,956
・その他開発協力事業等	3,930,671
NHK海外たすけあい募集資料等作成費	38,149,747
平成28年度支出額合計	646,435,519
(翌年度繰越金) ※2	100,086,956

※1 第34回「NHK海外たすけあい」募金キャンペーンは平成28年12月1日～25日に実施されました。

※2 NHK「海外たすけあい」の寄付金は、突発的な災害・紛争等に年度を超えて活用させていただいています。